

2026/05

常陸太田市議会

Hitachiota



議会だより No.184

令和8年度当初予算の
中身に迫る!!

一般会計当初予算概要
3ページ
予算特別委員会
6ページ

主な内容

- 令和8年度施政方針
- 議案賛否一覧、議案質疑、一般質問
- 予算特別委員会
- 常任委員会審査・請願等審査結果
- 決議・意見書

写真：第12回フォトコンテスト受賞作品
プリント部門 人気賞「しゃぼん玉風船」



高星 勝幸 議長

議長あいさつ

令和8年度の「常陸太田市議会だより」の発行にあたり議会を代表してごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日頃から市議会に対する深いご理解と市政に対するご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

1月の第1回臨時会では、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」や茨城県の「低所得子育て世帯生活応援特別給付金」等に係る補正予算について審議し、3月の第2回定例会では、令和8年度各会計予算や提出議案、請願など計46件について

審議を行いました。

一般質問では7人の議員が質問に立ち、教育、福祉、防災など多岐にわたる議論が交わされました。

私も議会といたしましては、二元代表制の一翼を担う議事機関として、議会基本条例を遵守し、議会改革をさらに進めていくとともに、市民の皆様への付託に応え、より信頼される議会となるため鋭意努力してまいります。

結びに、市民の皆様ご健勝を心からお祈り申し上げます。

第1回臨時会・第2回定例会

■市政運営の基本方針

市長に就任して以来、「子育て上手な常陸太田」「もっと住みたくなる常陸太田」「安心・安全なまち常陸太田」の実現を目指し、「少子化人口減少対策」「人が輝くまちづくり」「魅力アップのまちづくり」「元気な産業づくり」「安心・安全なまちづくり」「行財政改革」の6つの柱を掲げ、各種施策を進めてまいりました。

また、まちづくりの基盤となる「東部土地区画整理事業」「市道0139号線整備事業」「新総合体育館整備事業」の3つのプロジェクトは順調に進んでおり、完成に向けて着実に推進してまいります。

私自身、これまで多くの市民団体の会合などに積極的に出席し、市民の声を直接お聞きすることで、より良い市政運営を目指すためのご意

見をいただいております。改めて、市民の皆様への温かいご支援、ふるさとへの深い愛情と活力あるまちづくりへの強い思いを感じ、これを反映すべく、さらなる努力を続けてまいります。

市政運営にあたりましては、将来世代に誇れるまちを創り上げるため、市民の皆様や民間事業者、そして行政が一体となって課題解決に向け取り組むとともに、主要施策においては、重点分野を「パッケージ化」し、関連施策を総合的に推進することにより、効率的かつ効果的に目標を達成してまいります。

引き続き、社会



環境の変化に対応しながら諸課題の解決に全力で取り組み、元気で活力あふれる常陸太田を次の世代に確実につなぐことができるよう努めてまいります。

■提案理由説明（要旨）

第1回臨時会（1月21日）の提出議案は、補正予算1件、第2回定例会（3月3日から23日）の提出議案は、専決処分報告・認定6件、条例の制定1件、条例の一部改正8件、条例の廃止1件、計画の変更1件、公の施設の指定管理者の指定7件、市道路線の変更・認定それぞれ1件、令和7年度補正予算4件、令和8年度当初予算8件、合わせて38件です。

なお、第2回定例会の議会最終日に、人事案件3件を追加提案する予定です。

— 令和8年度の一般会計当初予算概要 —

令和8年度予算総額

503億6,146万6千円

令和8年度一般会計予算は、対前年比8.6%増の319億8,800万円で、特別会計、公営企業会計を合わせると前年度比6.7%増の503億6,146万6千円となります。

少子化人口減少対策【7億3,098万円】

●子育て世帯への支援

- ・【新規】 市立小中学校給食費無償化
- ・【新規】 市立中学校修学旅行費補助



●若者定住の促進

●妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援

人が輝くまちづくり【27億8,053万円】

●健康で活躍できる地域づくり

- ・【新規】 高齢者等ごみ出し困難者への支援
- ・新総合体育館整備事業（建築工事・外構工事）



●各種検診及びワクチン接種の助成

- ・带状疱疹ワクチン定期接種費用の無償化
- ・がん検診の一部無償化



魅力アップのまちづくり【2億8,450万円】

●シティプロモーションの推進

- ・【新規】 市民インフルエンサー育成（じょうづるさん広報部）
- ・【新規】 常陸太田アンバサダーの任命
- ・【新規】 フィルムコミッションHPの作成

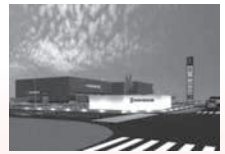
●カーボンニュートラルの推進



元気な産業づくり【6億7,034万円】

●東部地区への魅力ある商業施設の誘致

- ・【新規】 官民連携複合施設の運営
- ・企業誘致促進事業



●農林畜産業・商工業の振興

- ・【新規】 狩猟免許取得費等の助成
- ・【新規】 常陸秋そばりブランド化の推進
- ・【拡充】 竹粉碎機追加導入（森林環境譲与税活用）



安心・安全なまちづくり【39億8,838万円】

●災害に強いまちづくり

- ・【新規】 内水対策（フラップゲート、釜場整備）
- ・【新規】 避難所への移動式エアコンの整備

●自主防災体制の強化

- ・【新規】 防災資機材整備・修繕費補助

●道路整備の促進

- ・市道0139号線整備事業

●ニーズに対応した地域公共交通体系の構築



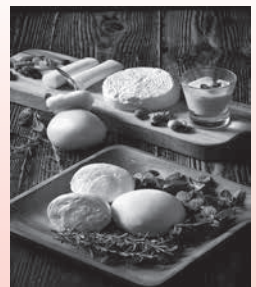
行財政の効率化と質の向上【6億575万円】

●行政手続きのデジタル化及び財政管理の強化

- ・DX推進（ノーコードツール活用）、行政情報アプリ運用
- ・ふるさと常陸太田寄附の推進

●その他の行財政改革

- ・第三セクターの統合
- ・マタニティ・サポート119事業の実施
- ・西山研修所の閉鎖



第1回臨時会・第2回定例会 議案賛否一覽

△全員賛成で可決した議案▽

第1回臨時会		議案名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和7年度常陸太田市一般会計補正予算(第5号)について	本会議	原案可決	
第2回定例会				
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度常陸太田市一般会計補正予算(第6号))	本会議	原案承認	
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度常陸太田市一般会計補正予算(第7号))	本会議	原案承認	
議案第2号	常陸太田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	文教民生	原案可決	
議案第3号	常陸太田市議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	総務	原案可決	
議案第4号	常陸太田市奨学基金条例の一部改正について	文教民生	原案可決	
議案第5号	常陸太田市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	文教民生	原案可決	
議案第6号	常陸太田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文教民生	原案可決	
議案第7号	常陸太田市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部改正について	産業建設	原案可決	
議案第8号	常陸太田市固定資産税の課税免除に関する条例及び常陸太田市企業等立地促進条例の特例を定める条例の一部改正について	産業建設	原案可決	
議案第9号	常陸太田市消防団の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	総務	原案可決	

議案名		付託委員会	議決結果
議案第10号	常陸太田市火災予防条例の一部改正について	総務	原案可決
議案第11号	常陸太田市公共下水道事業債償還基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について	産業建設	原案可決
議案第12号	常陸太田市過疎地域持続的発展計画の変更について	総務	原案可決
議案第13号	常陸太田市営斎場に係る指定管理者の指定について	文教民生	原案可決
議案第14号	常陸太田市営里美斎場に係る指定管理者の指定について	文教民生	原案可決
議案第15号	常陸太田市水府竜神観光施設 水府ふるさとセンター、水府観光物産館及び水府竜の里公園に係る指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第16号	常陸太田市里美カントリー牧場及び里美温泉保養センターに係る指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第17号	常陸太田市総合交流ターミナルに係る指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第18号	常陸太田市西金砂そばの郷及び西金砂湯けむりの郷に係る指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第19号	常陸太田市農畜産物等加工施設に係る指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第20号	常陸太田市道路線の変更について	産業建設	原案可決
議案第21号	常陸太田市道路線の認定について	産業建設	原案可決
議案第22号	令和7年度常陸太田市一般会計補正予算(第8号)について	総務	原案可決

△ 賛否の分かれた議案 ▽

議案第29号	議案第28号	議案第27号	議案第26号	議案名	付託 委員会	審査 結果	宇野 隆子	高木 将	茅根 猛	成井小太郎	深谷 秀峰	益子 慎哉	平山 晶邦	深谷 涉	菊池 勝美	諏訪 一則	小室 信隆	森山 一政	鴨志田 悟	片根 志雄	郡司 哲也	石川 晶大	議決結果	
令和8年度常陸太田市介護保険特別会計予算について	令和8年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計予算について	令和8年度常陸太田市国民健康保険特別会計予算について	令和8年度常陸太田市一般会計予算について		予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決

【○…賛成 ×…反対 欠…欠席】
 ※議長の表決権・過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することができる裁決権が認められています。

議案第23号	議案第24号	議案第25号	議案第30号	議案第31号	議案第32号	議案第33号	議案第34号	議案名	付託委員会	議決結果
令和7年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	令和7年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	令和7年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	令和8年度常陸太田市水道事業会計予算について	令和8年度常陸太田市工業用水道事業会計予算について	令和8年度常陸太田市簡易水道事業会計予算について	令和8年度常陸太田市下水道事業等会計予算について	常陸太田市教育委員会教育長の任命について		文教民生	原案可決

議案第35号	議案第36号	請願第1号	請願第2号	請願第3号	議員提案第1号	議員提案第2号	所管事務調査及び閉会中の継続調査について4件(議会運営委員会、総務委員会、文教民生委員会、産業建設委員会)	議案名	付託委員会	議決結果
常陸太田市公平委員会委員の選任について	人権擁護委員候補者の推薦につき同意を求めることについて	学校薬剤師報酬の引き上げに関する請願	脳脊髄液減少(漏出)症医療改善を求める意見書を国及び茨城県に提出することを求める請願	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願	特別職の職員で非常勤のもの報酬改善に関する決議について	脳脊髄液減少(漏出)症医療改善に関する意見書の提出について			文教民生	採 択

予算特別委員会を開催

— 令和8年度一般会計・特別会計3件・
企業会計4件を審査 —

予算に関する議案第26号から議案第33号までを審査するため、予算特別委員会を3月9日に設置した。議長を除く16名の議員が委員に選任され、3月17日と18日の2日間にわたり審査を行い、一般会計の総額319億8,800万円、特別会計の総額132億3,277万8千円、公営企業会計の総額51億4,068万8千円、合計503億6,146万6千円について審査した。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については、賛成多数により原案可決すべきものと決定。その他4会計については、全会一致により原案可決すべきものと決定した。



予算特別委員会 委員長 小室 信隆
副委員長 諏訪 一則

— 質疑内容（一部抜粋） —

問1

常陸太田大使と常陸太田アンバサダーの役割の違いと新規事業の市民インフルエンサー（SNSで地元魅力・情報を発信する地元愛の強い方々）の内容と目的について

答1

常陸太田大使は、市の魅力を広くPRしていただくことで、市のイメージアップや観光の振興、市の活性化を推進している。常陸太田アンバサダーは、SNS等でフォロワー1万人程度を有する影響力のある方に、日常的な情報発信をお願いし、デジタル媒体によるPR強化策として事業の推進を図る点が特徴である。

市民インフルエンサーは、市民や本市にゆかりのある方を対象に研修を実施し、SNSでの発信力を高め、市の魅力や取り組みを継続的に発信していただくものである。これにより、市民参加による情報発信を広げ、地域への愛着や誇り、シビックプライドの醸成を図り、シティプロモーションの推進につなげていくものである。



問2

国からの交付金を活用し、避難所となる小中学校体育館等に移動式エアコンを整備する計画について

答2

移動式エアコンは、市内13の小中学校体育館や廃校活用施設及びB&G施設などに計66台を配備する予定である。エアコンの能力は1.5馬力相当であり、冷房は約21～30℃、暖房は0～20℃の運転範囲である。

問3

鳥獣対策について、熊出没時の対処方法及び猟友会による対応体制について

答3

熊出没時には、猟友会と連携しパトロールやわな設置、緊急駆除を行うものである。対応する体制は、市内の猟友会で不足する場合は、大子町等の近隣の猟友会から支援を受け連携して対応するものである。



議 案 質 疑

議案質疑とは、本会議での議案の説明だけでは分からないことを質問する行為のことです。

議案第 8 号 常陸太田市固定資産税の課税免除に関する条例及び常陸太田市企業等立地促進条例の特例を定める条例の一部改正について
(常陸太田市東部土地区画整理事業計画地への企業誘致を継続するため、本条例の一部改正を行うもの)

問 1 企業等立地奨励金の対象となっている事業所数及び交付額について伺いたい。

答 1 令和 6 年度の実績で、奨励金を交付した事業所数は 3 事業所、交付額は 2,458,800 円である。

議案第 9 号 常陸太田市消防団の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について
(常陸太田市消防団員の定数を適正化するとともに、国が示す「非常勤消防団員の報酬等の基準」に即した処遇改善を図るため、本条例の一部改正を行うもの)

問 1 災害に係る出勤 1 日につき報酬額 8,000 円が、従事した時間が 4 時間未満の場合は 4,000 円とした理由及び県内で同様の形態をとっている市町村はあるのか伺いたい。

答 1 既に条例改正を行っている県内市町村の改正内容を精査したところ、出勤時間に応じて支給単位を設定している自治体が多数を占めている。具体的には、県内 44 市町村のうち、本市を含めた 6 自治体を除く 38 市町村、割合にして 86.4%が、出勤時間等に応じた報酬体系を採用しており、本市の設定は県内においても一般的な形態であると認識している。

また、「従事した時間が 4 時間未満の場合にあっては 4,000 円」とした理由は、本市における災害活動の実態を踏まえたものである。特に建物火災において、軽微な事案を含め、概ね 4 時間以内に鎮圧・鎮火に至る事例が多い状況にあることから、活動実態を基準として「4 時間」を一つの区切りとし、4 時間未満を半日相当として 4,000 円、4 時間以上を国基準である日額 8,000 円と整理した。

行政視察にお越しいただきました



月 日	議会名	主な視察項目
1月22日(木)	鹿児島県鹿児島市議会	自動運転 EV バス運行の取り組みについて
1月28日(水)	東京都青梅市議会	自動運転 EV バスの実証実験と定常運行について



左：鹿児島県鹿児島市
公明党鹿児島市議
会議員団の皆様

右：東京都青梅市
環境建設委員会の
皆様



片根 志雄
議員

問1 地域共生社会に向けたファミサポ事業の充実
問2 部活動の地域展開に向けた取り組み状況

問1 市の調査では、6歳未満の子どもがいる世帯の核家族化が進んでいる。そこで、公的な保育サービスを補完するファミリーサポートセンター事業の現状と課題、役割強化について伺いたい。

答1 保健福祉部長 この事業は、常陸太田市社会福祉協議会に委託し、利用会員と提供会員のマッチング調整を実施している。令和5年度が15世帯、延

べ675件、令和6年度が21世帯、延べ1013件、令和7年度が本年1月末現在で22世帯、延べ983件と利用者・利用件数とも増加傾向にあり、利用者の多くが児童クラブやこども園等への送迎サービスを利用していている。子育て家庭を支える有用な事業と捉えており、提供会員の確保を図るとともに、気軽にかつ安心して利用できるサービスであることを認知していただけるようにホームページや子育て支援アプリのほか、母子

問2 健康手帳の交付時や各種相談支援の際などでの周知に努めていく。

答2 教育部長 地域移行した部活動の加入率は、令和5年度7.6%、令和6年度は10.1%、令和7年度は9.8%となっている。令和8年度には、卓球、テニスのクラブ開設を予定しており、参加機会の拡大、専門指導体制の充実により、地域クラブの魅力向上に取り組む。参加費として、現在1回当たり500円を頂いているが、経済的理由のみをもって活動参加を断念した事例はなく、引き続きすべての子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に参加できる持続可能で公平性の高い仕組みづくりを進めていく。



平山 晶邦
議員

問1 少子化に伴う教育環境の整備は

問1 本市の少子化は、私たちの予想を超えて進んでいる。本市の出生数は150人前後で推移し、地区によっては一桁前半の数である。その状況では、本市の教育環境も劇的に様変わりしていくと考える。今後とも持続可能な教育環境を整備するために

竜中学校の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、学校施設をどのように考え、学校教育環境を整備することも重要である。今後の教育環境の整備について伺いたい。

おり、教育環境に様々な影響を及ぼしていることは否めない状況である。幼稚園や学校での教育活動において、仲間づくりや教育内容の質的充実を図るためには、児童生徒の適正規模を確保するなどよい良い教育環境を整えていく必要があるとの考えを持っている。そこで、急激に進行する少子化に伴う教育環境への影響を鑑み、学校再編の必要性が生じている。今後の教育環境の整備については、令

和8年度当初に学校施設検討協議会を設置し、協議会委員の方々に今後の教育環境の整備や市立学校の在り方等についてご検討いただき、令和8年末に答申をいただきたいと考える。答申をいただいた後は、答申内容を踏まえながら、教育環境の整備に関する具体的な計画を教育委員会で速やかに策定していく所存である。

答1 教育長 本市は、少子化に伴う児童生徒の減少や学校施設の老朽化の状況を踏まえて、学校統廃合を進めて学校規模の適正化に取り組んできた。しかしながら、少子化の進行は続いて

いかなければならない。常陸太田地区においては、太田中学校や瑞

いかなければならない。常陸太田地区においては、太田中学校や瑞

いかなければならない。常陸太田地区においては、太田中学校や瑞

いかなければならない。常陸太田地区においては、太田中学校や瑞

【平山 晶邦 議員 質問事項】
●教育行政について



【片根 志雄 議員 質問事項】
●地域共生社会の実現に向けた子育て支援体制の充実について
●部活動の地域移行の推進について





石川 晶大 議員

問1

第三セクターの統合は、本市の地域経営の在り方を左右する重要な政策判断である。経営効率化など様々な効果が期待される一方で、統治機能の弱体化や市民との距離の拡大など、課題も想定される。そこで、どのような効果と課題を認識しているか伺いたい。

答1

総務部長 これまでそれぞれの独自の運営方法による経営を行っており、経営資源が

問1

第三セクター統合の効果と課題は

分散されていたが、統合によりそれらを集中させ、相乗効果を発揮することで持続可能な運営ができる組織体制になると考えている。課題としては、公共施設の指定管理業務以外に自主財源を確保し自立した経営体制を構築することであり、将来的にはふるさと納税業務を担うなど収益事業の強化を図っていくことが必要だと考えている。

問2

公的性格を有しながら株式会社形態をとる法人である以上、市民が経営を見守る立場から一歩進み、共に支える立場となる仕組みを構築すべきである。財政基盤や地域経済循環の強化、不透明経営のリスク抑制など、身近で地域や市民の声を聴き、ニーズに合わせた運営をするため、市民が少額から出資し経営に参与する市民持株制度の導入を提案したい。導入について具体的な調査・研究を開始する考えはな

答2

総務部長 第三セクターの市民持株制度については、市民が経営に参画することにより会社や地域への愛着が高まり、経営の透明性が確保されることが期待され、全国でみると事例があることは承知している。現時点で導入する予定はないが、今後有効性や必要性について先進事例など調査・研究していきたいと考えている。



郡司 哲也 議員

問1

里美歯科診療所の診療休止から1年以上が経過している現状のように歯科の空白地帯が生まれてきており、さらに歯科医師の高齢化や後継者不足により、今後歯科医師確保がさらに難しくなることが予想される。里美歯科診療所の現況と過疎高齢化に伴う歯科医療体制について伺いたい。

答1

保健福祉部長 診療再開に向けて新たな歯科医師確保に努めてきたが、応募がない状況を踏まえ、これまでの指定管理

問2

里美歯科診療所の現況と今後の歯科医療体制について 教育移住と小規模特認校の導入について

者による運営方法にとらわれず、他の運営方法等についても調査検討を進めているところであり、また診療再開に向けて施設の修繕や機器の入れ替えも考慮する必要がある。歯科医師の高齢化等については医科含めて課題と認識しており、本市の将来の医療体制の維持・確保のため、県政要望・歯科医師会等との情報共有を行い、歯科医療体制の維持と確保に努める。

問2

自然環境や特色のある教育プログラムに惹かれ、

答2

教育部長 小規模であっても、まずはその地域に住む児童生徒が特色のある教育が受けられる学校づくりを目標としている。魅力的な成果を上げることが、市外から移住を検討されて

市県外から「教育移住者」が増えている公立学校が出てきており、自治体の取り組みとして特色のある学校教育が移住定住の促進のきっかけに繋がっていると考える。特色のある教育や小規模特認校の導入について伺いたい。

いる方が本市の魅力として捉えるポイントに繋がると考える。学校教育指針で掲げる4つのテーマのうち、「生きる力を育む」は、地域の課題に向き合い試行錯誤する中で、生きていく力を育むことを目指しており、里美小中学校において、地元PR曲及びオリジナルダンスの制作や、地元の特産品である「里川カボチャ」等の里美地区の良さを外部に発信することで、里美小中学校の特色が活かされ、実践できたものと考えている。

【郡司 哲也 議員 質問事項】 ●教育移住について ●里美歯科診療所について ●農業の推進について

【石川 晶大 議員 質問事項】 ●第三セクターの統合について



鴨志田 悟
議員

問1 本市の再生可能エネルギーの推進を問う
問2 伝統的な工芸品産業のより一層の振興を

問1 本市は、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指す「ゼロカーボンシティ」を表明している。そこで本市の気候変動対策、特に再生可能エネルギーの推進について伺いたい。

答1 市民生活部長 大規模な太陽光発電事業に関しては、森林伐採による生態系や環境の破壊、土砂災害などにつながる可能性があるため、適切な設置管理がなされるように条例の改正等

の対応を図ったところである。また、再生可能エネルギー政策の今後の方向性については、本市の第4次環境基本計画にも示してある再生可能エネルギー導入目標を目指し、事業者等との連携や個人住宅への太陽光設置費補助などにより、市民に広く周知・啓発を図りながら再生可能エネルギーの推進に努めていく。

問2 常陸太田市市の認証特産品の紹介の中で、「伝統的な

工芸品などは日本中どこでも、その土地にあった身近な材料を活かして土地の職人が創り上げてきたもの」とし、伝統的工芸品の意義を指摘している。そこで、伝統的工芸品産業の振興策について伺いたい。

答2 商工観光部長 市では、「雪村うちわ」「かな料紙」「河合の箆」に加え、建築内装材の「アトピーキラー」の4品目を認証特産品に

認証し、優れた農林水産物及び加工品として、生産拡大及び販売促進を図っている。

保健福祉部長 「高齢者生産活動センターさとみ」が作るわら工品は、県の「伝統工芸品」や市の「認証特産品」には該当していないが、県内外の神社や自治会、企業、個人に多数出荷している状況である。本物のわらを使った手づくりの製品であるというその品質に関して、好評を得ているものと認識をしている。



深谷 渉
議員

問1 本市の第6次総合計画の評価・検証を問う
問2 感震ブレイカー設置補助とその推進について

問1 新たな市の第7次総合計画策定が始まった。そこで、第6次後期基本計画における各施策指標の目標値の達成状況について、現在の評価・検証を伺いたい。

答1 企画部長 第6次後期基本計画における各施策指標の達成状況については、令和6年度末時点で、全253指標のうち82指標が達成率100%以上、全体達成率は85.2%となっております。

り、市としては「おおむね順調に進捗している」と評価している。一方で、未達成の要因としては、計画策定時がコロナ禍であり、イベント来場者数や施設利用者数などにコロナ禍前の水準を目標として設定したものの、実績が戻っていないことが挙げられる。また、施策自体は実施できていても、成果が指標に十分反映されていない事例もある。

現在は第7次総合計画策定に合わせ、施策の実施状況を確認しな

がら検証を進めるとともに、毎年度の事業評価により、事業費に対する効率性やコスト面の効果検証も行っている。

現在第7次総合計画策定に合わせ、施策の実施状況を確認しな

問2 通電火災の被害軽減に有効とされる感震ブレイカーについて、静岡県では設置補助を行う自治体が広がっている。木造住宅が多い本市でも、市民の命と生活基盤を守る観点から、設置補助制度を創設し、その推進をすべきと考えるが、見解を伺いたい。

現在は第7次総合計画策定に合わせ、施策の実施状況を確認しな

答2 消防長 感震ブレイカーの普及状況は把握していないが、通電火災防止に努める。補助制度は現時点で未検討であり、今後、他自治体の取り組みを調査していく。

現在は第7次総合計画策定に合わせ、施策の実施状況を確認しな

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 第6次総合計画後期基本計画について
- 防災・減災について

【鴨志田 悟 議員 質問事項】

- 再生可能エネルギーの推進について
- 伝統的な工芸品について

市道 0139 号線の現地視察

1月21日、全議員を対象に市道0139号線整備事業の現地視察を行った。

はじめに、高貫町にある現場事務所にて、市道0139号線整備推進課や常陸太田工事事務所、工事受注者であるピーエス・コンストラクション(株)から事業概要や工事概要の説明を受けた。

ドローンの映像なども交えながら最新の工法や事業の進捗状況について学び、橋梁部分に使用されるプレストレストコンクリートの板に乗り、その強度を体感した。

その後、(仮称)第6号橋上部工の現場を見学し、安全管理体制などの現況を直接確認した。



宇野 隆子
議員

問2 問1

データねつ造・隠ぺい止まぬ原発企業
低廉な使用料で市民スポーツの権利保障を

問1

今年1月、中部電力の浜岡原発で安全審査の前提を根底から覆すデータのねつ造が明らかになった。昨年2月に原子力規制委員会に外部から情報提供があつて発覚したもの。東海第二原発の地質調査も同じ調査会社と同じ時期に行っている。東海第二原発の防潮堤施工不良も、日本共産党に寄せられた内部告発によって明るみになった。外部からの情報提供や内部告発がなければ重大な問題を明らかにしない企業の隠

答1

市長 浜岡原発の不正なデータを故意に使用した問題は、原発政策の安全性の根幹に関わる極めて重大な問題と認識している。

問2

ぺい体質は、原発を運転する資格がない。再稼働を急ぐための浜岡原発の不正データ使用問題について、同じ原発問題を抱える本市として市長の見解を伺いたい。

建設中の新総合体育館について、「市民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができると」、「施設使用料が高くなるのか」、「施工使用料が高くなるのか心配」などの声が聞かれる。「市スポーツ推進計画」は市民がいつでもどこでもスポーツに親しむことのできる環境の整備や地域に根ざしたスポーツの振興等を目指している。立派な施設をつくっても使用料が大幅値上げになり、スポーツ実施率を下げることにならないよう、市民が安心して気軽

答2

教育部長 バリアフリー化や利用者の利便性、安全性に配慮した施設整備に努めていくこととしており、使用料に対して、十分な付加価値と満足度を実感いただけるサービスを提供することを基本とし、その決定のプロセスを含め総合的に検討を重ねている段階である。

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 東海第二原発の再稼働問題について
- 国民健康保険税の負担軽減について
- がん検診の無料化について
- 新総合体育館について
- 学校におけるタブレット使用について



総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正3件、計画の変更1件、補正予算1件、請願1件、合計6件の審査を行い、付託された5議案を全会一致により原案可決すべきものと決定、請願1件を全会一致により採択すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第10号 常陸太田市火災予防条例の一部改正について
 (対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令及び対象火気設備等及び対象火気器具等の離隔距離に関する基準の一部を改正する件が令和7年11月12日に公布され、令和8年3月31日から施行されること等に伴い、本条例の一部改正を行うもの)

問 現時点の簡易サウナ設備の件数と届出について伺いたい。

答 これまでに届出があったサウナ設備は6設備あり、そのうち簡易サウナ設備に該当するものはバレル型サウナ室1設備で、届出があったサウナ設備についてはすべて立ち入り検査を実施し、非常対策を含む火災

予防上の問題はなかった。なお、個人が設ける簡易サウナ設備については、条例上の届出義務が生じないため、その実態を把握することは困難であるが、市ホームページ等により個人や事業者を問わず周知を図っていききたい。

議案第22号 令和7年度常陸太田市一般会計補正予算(第8号)について

(一般会計歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ15億5638万5千円を減額し、総額を293億3926万7千円とするもの)

問 総務費のふるさと常陸太田寄附推進事業の減額の理由について伺いたい。

答 総務費寄附金の歳入予算について、過去の実績に基づき、当初は6億円を見込んでいたものの、寄附額が予測を下回ることから歳入予算を減額した。その主な理由としては、お米不足の解消やポータルサイトのポイント付与制度の廃止等によるものと推測され、また、この歳入予算の減額に連動し、歳出予算であるふるさと常陸太田寄附推進事業の関係予算を減額するもの。

【委員会構成】

委員長 深谷 渉
 副委員長 鴨志田 悟
 委員 員 茅根 猛
 委員 員 深谷 深谷 秀峰
 委員 員 平山 晶那
 委員 員 郡司 哲也

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の制定1件、条例の一部改正3件、指定管理者の指定2件、補正予算3件、請願1件、合計10件の審査を行い、付託された9議案を全会一致により原案可決すべきものと決定、請願1件を全会一致により採択すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第2号 常陸太田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
 (子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行により、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準が令和7年11月13日に公布され、令和8年4月1日から施行されることに伴い、本条例を制定するもの)

問 乳児等通園支援事業を実施する事業者の認可状況について伺いたい。

答 4月1日からの事業実施に向けて仁川会愛保育園より申請があり、2月12日付で事業実施の認可をしている。また、公立園においては、うぐいす、すいふ、さとみこども園の3園において準備を進めているところである。

なお、利用時間は、1月当たり子ども1人10時間である。

議案第4号 常陸太田市奨学金条例の一部改正について
 (奨学資金返還免除制度の安定的な運用と運用益金の処理の見直しを行うため、本条例の一部改正を行うもの)

問 基金の額を増額した理由について伺いたい。

答 将来的な貸与者、返還者及び免除者の基金の推移を算出した結果、基金の上限額を2億4000万円とすれば、奨学金の制度が安定的に運用できるものと見込んでいる。

議案第25号 令和7年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第4号)について
 (介護保険特別会計歳入歳出予算の総額にそれぞれ9090万3千円を追加し、総額を66億4094万7千円とするもの)

問 居宅介護サービス給付費が5518万3千円の増額となった理由について伺いたい。

答 増額の主なものとして、訪問看護が延べ人数前年度比196人、約7%の増、福祉用具貸与が延べ人数前年度比238人、約2%の増を見込んでいる。

【委員会構成】

委員長 小室 信隆
 副委員長 諏訪 一則
 委員 員 宇野 隆子
 委員 員 高木 将
 委員 員 菊池 勝美
 委員 員 片根 志雄

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の一部改正2件、条例の廃止1件、指定管理者の指定5件、市道路線の変更1件、市道路線の認定1件、請願1件、合計11件の審査を行い、付託された10議案を全会一致により原案可決すべきものと決定、請願1件を全会一致により継続審査すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第15号 常陸太田市水府竜神観光施設、水府ふるさとセンター、水府観光物産館及び水府竜の里公園に係る指定管理者の指定について

（地方自治法の第244条の2第6項の規定により、常陸太田市水府竜神観光施設、水府ふるさとセンター、水府観光物産館及び水府竜の里公園の指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの）

問 指定管理統合後の運営方針と、従来の各施設の競争原理との関係をどのように整理していくのか伺いたい。

答 第三セクターの統合に伴い、指

定管理施設の合理化を図って運営すると共に、同じような施設の統合となるため、経営についても効率的に進められると考えている。また、各施設の地域特性を活かした管理運営を図るものである。

議案第19号 常陸太田市農畜産物等加工施設に係る指定管理者の指定について

（地方自治法第244条の2第6項の規定により、常陸太田市農畜産物等加工施設の指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの）

問 チーズ工房の特色を統合後どう活かすか、将来的な民間活用や独立運営の考えを伺いたい。

答 チーズ工房の製造体制は、従来の製造技術者1名に加え、今年1月からさらに1名を増員し、技術者2名の体制で安定的な製造を目指している。今後は、常陸太田産業振興株式会社物の販製造部門が担い、道の駅などにおいて、販売強化を行い、観光施設及び飲食店等による活用をより一層図っていく。

【委員会構成】

- 委員長 森山 一政
- 副委員長 成井小太郎
- 委員 益子 慎哉
- 委員 高星 勝幸
- 委員 石川 晶大

令和8年第2回市議会定例会陳情・請願・議員提案審査結果

陳情

件名	提出者	結果
【陳情第1号】 mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情	宇井 淳	報告
【陳情第2号】 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	パワハラから職員を守る都道県民の会 陳情代表 浜田 聡 茨城県支部 友部 一就	報告

請願

件名	提出者	結果
【請願第1号】 学校薬剤師報酬の引き上げに関する請願	常陸太田市薬剤師会 会長 草野 朋子 学校保健委員 谷下田 幹子	採択
【請願第2号】 脳脊髄液減少（漏出）症医療改善を求める意見書を国及び茨城県に提出することを求める請願	脳脊髄液減少（漏出）症 our Wish 代表 篠原 克子	採択
【請願第3号】 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願	茨城県労働組合総連合 議長 鈴木 貴之	継続審査

議員提案

件名	提出者	結果
【議員提案第1号】 特別職の職員で非常勤のものの報酬改善に関する決議について	提出者 深谷 渉 賛成者 鴨志田 悟 茅根 猛 深谷 秀峰 平山 晶邦 郡司 哲也	原案可決
【議員提案第2号】 脳脊髄液減少（漏出）症医療改善に関する意見書の提出について	提出者 小室 信隆 賛成者 諏訪 一則 宇野 隆子 高木 将 菊池 勝美 片根 志雄	原案可決

請願で採択された2件について、以下のとおり決議及び意見書を関係機関へ提出しました。

◆◆◆◆ 決議を提出しました ◆◆◆◆

特別職の職員で非常勤のものの報酬改善に関する決議

令和8年請願第1号「学校薬剤師報酬の引き上げに関する請願」の審査において、学校薬剤師の報酬が20年間見直されないまま据え置かれてきた実態が明らかとなった。近年の物価高騰や社会環境の変化を踏まえると、このままでは人材確保や教育環境の維持に支障が生じることが懸念される。

一方で、この課題は学校薬剤師のみに限られるものではない。本市の行政運営や教育、福祉等の現場を支える多くの特別職の職員で非常勤のもの（以下、「非常勤特別職」という。）においても、同様な課題に直面している。

しかしながら、これら非常勤特別職全体の報酬体系については、長期間見直しが行われていないものが多く見受けられ、社会環境の変化や職務の専門性、責任の程度、近隣自治体の水準を踏まえた体系的な点検が必要である。

持続可能な行政運営と安定した人材確保を図るためには、非常勤特別職全体の報酬体系について、実態に即した見直しを行うことが重要である。

よって、本市議会は、執行部に対し以下の事項について必要な措置を講じるよう求める。

記

1. 学校薬剤師のみならず、その他の非常勤特別職についても、その活動実態と職責及び専門性等を踏まえた適正かつ合理的な報酬体系となっているか総合的に点検し、必要に応じて見直しを検討すること。

◆◆◆◆ 意見書を提出しました ◆◆◆◆

脳脊髄液減少（漏出）症医療改善に関する意見書

脳脊髄液減少（漏出）症は、脳脊髄液の漏出または減少により、起立性頭痛、頸部痛、めまい、強い倦怠感、視覚・聴覚過敏等、日常生活を著しく制限する深刻な症状を引き起こす疾患である。交通事故や転倒、医療行為等を契機に発症することも多く、誰にでも起こり得る難治性の高い病気である。

更に、本症は診断が極めて困難であり、一般的な医療機関では適切に把握されないケースが少なくない。その結果、患者は長期間にわたり原因不明の症状に苦しみ、適切な治療にたどり着けないまま放置される実態がある。

とりわけ茨城県内においては、脳脊髄液減少（漏出）症の診断はできるものの、放射性同位元素検査やブラッドパッチ療法などの専門的な治療が可能な医療機関が少ないため、患者は県外の医療機関へ長時間をかけて通院せざるを得ない。これは病気の特性上、患者及び家族に過大な身体的・精神的・経済的負担を強いっているものである。

さらに、治療法は未だ確立途上にあり、長期療養を余儀なくされるにもかかわらず、難病指定がなされていないため、公的支援は極めて不十分である。

よって、国及び茨城県においては、本症に苦しむ患者の実情を直視し、下記の事項について責任をもって速やかに実施するよう強く求める。

記

1. 国において、当該疾患の診断基準の確立及び治療法の研究開発を加速し、全国的な医療提供体制の抜本的強化を図ること。
2. 脳脊髄液減少（漏出）症を速やかに難病として指定し、医療費助成を含む実効性ある支援制度を確立すること。
3. 茨城県内において、脳脊髄液減少（漏出）症の専門的診断及び治療が可能な拠点医療機関を早急に整備・確保すること。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、茨城県知事

議会について教えて

シリーズ⑮

「政治倫理条例」の一部改正と「ハラスメント防止条例」の制定について

常陸太田市議会では、令和7年12月定例会において、議員提案による「常陸太田市政治倫理条例」の一部改正と「常陸太田市ハラスメント防止条例」の制定を全会一致で可決しました。そこで、今回はそれぞれの重要なポイントについて解説します。

1. 常陸太田市政治倫理条例の一部改正（令和8年4月1日施行）

条例の詳細はこちら



① ハラスメント防止と情報発信に関する規定の新設【第4条第1項第2号・第7号】

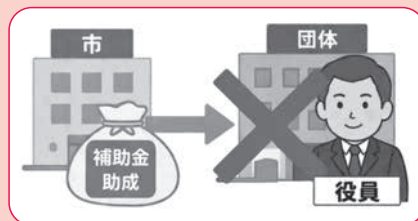
議員及び市長等は、立場を利用して行う不適切な言動を防ぐため、新たな規定を設けました。

- ・妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメントやパワーハラスメント、誹謗中傷など、人権を侵害したり不快感を与えたりする行為の禁止
- ・発言やチラシ、ホームページ、SNSなどによる情報発信において、他人の名誉や人格を損なう行為の禁止

② 兼業の範囲に関する規定の新設【第4条第2項第1号・第2号】

議員及び市長は、利益相反や市民の疑念を招かないようにするため、市から補助金等を受ける団体の役員に就任することを禁止します。ただし、以下の場合は除きます。

- ・一定の要件により、議長から許可を受けた場合
- ・定款などにより、議員の就任が定められている場合
- ・市長が公務等により、収益を目的としない団体の職に就任する場合



③ 市が行う契約に関する遵守事項の改正【第19条第5項】

議員が個人事業主である場合の市との契約については、地方自治法に基づき、年間300万円の範囲内で契約を認めることを規定しました。

2. 常陸太田市ハラスメント防止条例の制定（令和7年12月16日施行）

条例の詳細はこちら



本条例では、議員・特別職・非常勤特別職・職員等それぞれに「ハラスメントの禁止」及び「防止の責務」を定めるとともに、次のような仕組みを整備しました。

【対象者】

- ・議員、特別職（市長・副市長・教育長）及び市の条例等で定められた「非常勤特別職」（例：教育委員、農業委員、学校医、統計調査員他）
- ・市職員及び会計年度任用職員

「非常勤特別職」の詳細はこちら



【概要】

- ・職員に関する事案については、「相談員制度」及び「第三者相談窓口」を設置し、適切な助言・対応を行う体制を構築しました。
- ・特別職や議員に関する事案については、第三者機関である「ハラスメント審査会」を設け、専門的・中立的な立場から調査審議を行います。
- ・ハラスメントの事実が確認された場合には、職員に対しては懲戒処分等に関する規程に基づく対応措置を行います。また、特別職・議員に対しては「公表」による対応措置を行います。
- ・申出に関与するすべての者に対し、プライバシー保護と秘密保持を義務付け、不利益な取扱いを禁止します。

議会を傍聴しませんか

6月定例会会期日程（予定）

6月2日（火）	午前10時	開会・議案説明
4日（木）	午前10時	一般質問
5日（金）	午前10時	一般質問
8日（月）	午前10時	議案質疑
9日（火）	午前10時	総務委員会
10日（水）	午前10時	文教民生委員会
11日（木）	午前10時	産業建設委員会
16日（火）	午前10時	委員長報告・採決・閉会

- 傍聴される方は、市役所4階議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴する際には注意事項をお守りください。また、常陸太田市議会では、本会議映像をインターネットで配信しています。

常陸太田市議会

検索



議会運営委員会

1月14日に第1回臨時会の運営等について審議を行った。2月20日には、第2回定例会の第1日の日程、議案等委員会付託、一般質問・議案質疑の通告期限、一般質問の発言方法・時間制限等及び予算特別委員会の設置について審議し、3月3日に一般質問通告者について、3月18日には最終日の日程、追加議案等について審議を行った。



委員長	益子 慎哉	副委員長	茅根 猛
委員	宇野 隆子	委員	深谷 涉
〃	小室 信隆	〃	森山 一政

議会日誌

1月14日	議会運営委員会
21日	広報委員会 / 臨時会 / 全員協議会 / 0139号線視察
22日	鹿児島県鹿児島市議会行政視察来市
23日	茨城県市議会議長会定例会
28日	東京都青梅市議会行政視察来市
30日	県北市議会議長会研修視察
2月4日	全国市議会議長会第152回国会对策委員会
16日	茨城県市議会議長会議員研修会
20日	議会運営委員会 / 全員協議会 / 文教民生委員会協議会
3月3日	本会議（開会・議案説明） / 議会運営委員会
5日	本会議（一般質問）
9日	本会議（議案質疑） / 総務委員会協議会 / 文教民生委員会協議会 / 産業建設委員会協議会
11日	総務委員会
12日	文教民生委員会
13日	産業建設委員会
17日	予算特別委員会
18日	予算特別委員会 / 議会運営委員会 / 全員協議会 / 総務委員会 / 文教民生委員会
23日	本会議（委員長報告・採決・閉会） / 広報委員会

編集後記

議会だより第184号では、令和8年第1回市議会臨時会及び第2回市議会定例会の主な内容を掲載いたしました。

今回は、令和8年度の各会計予算（一般会計・特別会計等8会計）の内容や、審議結果などをまとめて掲載しましたのでご覧ください。

また、茨城県立太田第一高等学校の生徒会役員との対話集会において強い要望がありました。常陸太田駅の待合室の冷暖房設備の改修工事も終わり、利用される方には少しでも気持ち良さを感じて頂けるものと思います。さて、今年の夏はどうなるのでしょうか。昨年は、群馬県伊勢崎市において8月5日に「日本歴代最高気温」41.8℃が観測されました。今年はそれを更新するのでしょうか。十分な体調管理の下、今年の猛暑を元気に乗り越えましょう！

これからも「親しまれる議会だより」を市民の皆様にお届けできるよう、広報委員一同編集に取り組んで参りますのでよろしく、お願い申し上げます。

広報委員会

委員長	長 菊池 勝美
副委員長	森山 一政
委員	宇野 隆子
〃	成井小太郎
〃	深谷 涉
〃	小室 信隆
〃	鴨志田 悟